

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2007 年 5 月 3 日 9 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
能代工高	<table border="1"> <tr><td>28 1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>27 2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>24 3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>30 4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	28 1st	8	27 2nd	11	24 3rd	13	30 4th	18	OT		市立船橋高
28 1st	8											
27 2nd	11											
24 3rd	13											
30 4th	18											
OT												
109 ○		50 ●										

主審:Referee
上田 信彦 (岩手)
副審:Umpire
北沢 岳夫 (宮城)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
花輪高校 (男子)

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	渡部 敬祐	CAP	8	2	0	2	1	4		神 佳希	CAP	-	-	-	-	-
5	×	満原 優樹		16	0	6	4	0	5	×	岩井 俊憲		3	1	0	0	3
6	×	高橋 健太郎		11	0	3	5	1	6	×	三富 修平		0	0	0	0	1
7	×	長谷川 技		8	1	2	1	2	7	×	遠藤 祐亮		14	0	6	2	4
8	×	高橋 陽		10	1	3	1	0	8	×	星野 拓海		20	5	1	3	2
9	/	宮川 光		10	0	4	2	0	9	×	小出 翼		3	1	0	0	4
10	/	館山 健太		17	5	1	0	3	10	/	西 信之		7	0	3	1	2
11	/	石川 朝		2	0	1	0	2	11	/	和田 保彦		0	0	0	0	2
12	/	熊谷 健		7	1	2	0	2	12		河合 智平		-	-	-	-	-
13	/	荒生 純平		0	0	0	0	1	13	/	常世田 政明		3	1	0	0	1
14	/	小川 昌志		8	1	2	1	1	14		實川 一輝		-	-	-	-	-
15	/	武藤 修平		4	0	2	0	1	15		野口 翔志		-	-	-	-	-
16	/	金田 健大		0	0	0	0	0	16		會田 一步		-	-	-	-	-
17	/	飯田 啓人		2	0	1	0	0	17		森川 翔太		-	-	-	-	-
18	/	佐藤 光		6	0	2	2	0	18	/	藤岡 昂希		0	0	0	0	3
コーチ		加藤 三彦							コーチ		廣田 誠						
合計				109	11	29	18	14	合計				50	8	10	6	22

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両校ともマンツーマンディフェンスでスタート。出だし、能代#8高橋陽の3Pシュートで先制する。さらに、#5満原がインサイドからシュートとフリースローを決め、6-0とリードする。船橋は能代のマンツーマンディフェンスの前になかなかシュートが打てず、残り6分、船橋#8星野の3Pで初得点を挙げる。一方、能代はリズム良く攻撃し、ゴール下では#5満原、そしてアウトサイドからは#4渡部が3Pシュートを決め、11-3と8点リードしたところで、船橋がタイムアウト。タイムアウト後も流れは変わらず、能代#10館山が3P、#6高橋健らが速攻にいき、残り3分には21-3と離れる。船橋は#7遠藤がシュートを決めるのが、精一杯となり、28-8と能代が20点と大量リードで終了。

第2Q、能代はオールコートプレスにディフェンスを変え、さらにリードを広げにかかる。船橋もゾーンディフェンスにして、インサイドを固める。船橋は#8星野が幸先よく3Pを決めるが、後が続かず単発でシュートを打つにとどまる。能代はプレスディフェンスでスティールやパスミスを誘い、さらに加点していく。残り2分には50-19と31点のリードとなる。終了間際に能代#10館山が3Pを決め、55-19となったところで第2ピリオド終了。

第3Q、試合の流れは変わらず、能代が#6高橋健らを中心にシュートを決めていく。残り4分には67-28となったところで能代がメンバーを大きく変える。79-32と47点リードで第3ピリオド終了。

第4Q、能代は1年生の#14小川、#15武藤らが出場し、伸び伸びとプレーをする。一方、船橋は#8星野が3Pを決めるが点差は縮まらない。

結局、109-50と能代が59点差をつけて、開幕ゲームを勝利した。能代がリバウンドやルーズボールを完全に支配し、船橋を圧倒した。